

学力向上だより No. 5

戸田第一小学校 学力向上拠点形成事業通信

国語パートの取組

十五夜の月も皎々として冴えわたり、秋気いよいよ増す頃ですが、みなさまご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、学力向上拠点形成事業の発表も1ヶ月後に迫り、国語、算数、体育、特別支援教育の各パートにおいては、よりよい学習指導を目指し、研究を深めているところです。

国語パートでは、学力の基本である「読むこと」の中から、特に「説明的文章の読解力を高める」ということテーマに研究に取り組んできました。具体的には、次のような二つの側面から、児童の実態に基づいた児童主体の授業づくりに迫りたいと考えました。

(1) 授業を通しての取組

- ・ 説明文を読む価値を重視し、児童が楽しんで読めるような指導の工夫

(2) 日常的な取組

- ・ 様々な語彙や文章表現を獲得させ、言葉の力を育てる。

(1) 授業を通しての取組について

- 説明文を読み深めるために、文章全体の構造や、段落のつながり方などを視覚的に捉えさせています。

(図式化)



生き物ってつなが
ってるんだなあ



写真やカードで見やす
く表しています。



頭のテレビ、スイッチオン。
(様子をイメージさせる)

- 段階（スモールステップ）に合わせた**ヒントカード**を活用して、一人一人の理解に生かしています。

- **内容的な価値**（内容への感動、驚き、初めて知った喜び等）を重視することで、教材文で学習したことを生かした、発展的な読みの意欲につなげています。

(2) 日常的な取組

○戸っことばノート

小さめのノート（A5判）に、日常出会ったすてきな言葉を集めています。思いついた心のつぶやきや、本を読んでいて気に入った文章など書き留めておくものです。子どもたちが自分で表紙に副題をつけ、個性的なノートとなっています。

～副題の例～

- ・ワクワク日本語
- ・ことばのカケラをつなげる宝
- ・夢の扉
- ・日本語解体新書 等



○今月の詩

廊下に設置の「詩のひろば」に掲示、子どもたちにも配付し、「戸っことばノート」に貼っています。詩づくりなどの参考にもしています。

○音読カード

カードの様式や目標設定など、各学年の発達段階に合わせて取り組みさせています。（日頃のご協力をありがとうございます。）

先生に僕の声が届くように読もう！
がんばって読もう！



○国語辞書の活用

国語の授業では常に机の上に用意して活用し（3学年以上）、辞書を引く習慣を身につけさせています。



○読書マラソン

～100冊、10000ページを目指して～

今年読んだ本の書名や、ページ数、感想をすべて記録します。頑張った子には、「100冊賞」や「10000ページ賞」があります。



8月の新聞報道にもありましたように、中央教育審議会は、自分の考えを文章や言葉で表現する「言語力」を全教科で育成していく方針を固めています。言葉は学力向上のために欠かせない手段と位置づけ、本校でも日々の教育活動の充実に努めて参ります。